

令和6年度 公益社団法人長崎県看護協会通常総会 並びに第2回理事会報告

6月15日（土）ながさき看護センターにおいて、令和6年度公益社団法人長崎県看護協会通常総会を開催しました。今年度は、5年ぶりに来賓の皆様方をお招きし、式典を開催しました。大石県知事をはじめ、諫早市長（代理）、県医師会長、県看護連盟会長の祝辞の後、長崎県看護協会会長表彰を行い、23名が受賞されました。

引き続き、委任状提出者7,541名、離島支部会場への配信による離島支部会員38名を含め出席会員248名、役員・委員・協力員117名の計7,906名の出席による通常総会を開催しました。議長団として、県南支部の中山直美さん、県北支部の弥富裕子さん、対馬支部の熊本良宏さんの3名が承認され、議長団の議事進行により、第一号から第三号までの提出議案は承認されました。会場から、会費について、基盤強化事業について（会員拡大を図るための計画、在宅支援事業の収支状況への対応）、重点目標に対する評価について、研修センターの研修計画内容及び研修費用について、看護補助者研修及び無料職業紹介についての質問、看護連盟と協働した行政への要望についての質問があり、これから理事会で協議するとの回答をしました。

名誉会員として金澤きみ代さん、野田哲子さんが承認され、出席された金澤さんに名誉会員証の贈呈を行いました。

総会終了後、改選された理事21名と監事3名が出席し、第2回理事会が開催されました。理事会では、定款24条に基づき、総会の決議によって選出された会長候補者、副会長候補者、専務理事候補者から会長、副会長、専務理事を選定する方法によることができることになっていることから、出席理事21名の賛成により、日野出悦子理事が会長に同様に、副会長に木下日出美理事、井口恵美子理事、中尾優子理事、専務理事に余里康子理事が選定されました。続いて、会長の業務執行にかかる職務の代行順位について提案があり、1番目木下副会長、2番目井口副会長、3番目中尾副会長とすることが承認されました。